



セントケア・グループ



福祉の街

レンタルふくしのまち鴻巣便り

Vol.91

2026年8月号

☎ 048-543-5848

福田 昌弘【所長】
(ふくだ まさひろ)

久しぶりに読書②

最近読んだお勧め本のご紹介です。

楽園のカンヴァス 原田 マハ 著 新潮文庫
以前、原田さんの作品「本日は、お日柄もよく」を私のお気に入り作品TOPクラスとしてご紹介させていただきましたが、改めてこの作品を読み、原田さんの作品は本当に読後満足感が高いと感じます。とても良い旅をしたような感覚を味わえる作品です。興味のある方は、是非読んでみて下さい♪

加藤 忠志
(かとう ただし)

5件目でようやく

通気がよく脱ぎ履きがしやすいと、ロコミで見つけた靴を買うのに家から比較的に近いワークマンの店を4件周り買うことができず、あきらめました。たまたま翌日に、少し離れた店の近くを通ることがあり、寄ったところ見つけることができ購入できました。ネット購入も考えましたが私の足



のサイズが 左右の足サイズが0.5cmくらい違うので、いつも靴を買う時は足合わせしないと合わない事があるので、店で購入しています。買うことができた靴はサイズも丁度良く、履きやすいです。

阿部 友亮
(あべ ともあき)

日焼け止めは大事!!

7月も暑かったですが、8月はより暑くなりそうで熱中症には気を付けないと改めて思います、。夏と言えば紫外線!?光老化は避けたいところですね、紫外線から肌を守るには日焼け止めは欠かせません!!色々な日焼け止めを使ってきましたが、お勧めは2点!1つ目はスティックタイプの日焼け止めです。当初は興味本位で買ったのですが、腕や首は塗りやすく何より手がべたべたしないので出先でも塗りやすい!個人的には資生堂がお勧めです!2つ目はオルビスの

日焼け止めなのですが、個人的には塗っても肌が乾燥しにくいので重

波田野 正
(はたの あきら)
理学療法士

クリスタルロード!?

私は今年、広島県江田島市にある「クリスタルロード」の見物を予定しています。この道はごく普通の海辺の散歩道ですが、潮位が350cmを超える時には海に浸かり、水面が太陽の光を浴びてクリスタルのような幻想的な散歩道になります。下の画像はAIで作成したイメージ図です。実際に撮ってきた写真をまた載せますので、ぜひお楽しみに!





今月の地図情報はお休み☆

猛夏の候、営業車もちょっと駐めておくだけで車内が焦熱地獄もかくやなことになるため、飲み物の保冷用にとコメリで買ったクーラーバッグが中々いい仕事をしてくれてウキウキな折に、絢爛にして潤い麗らかな妙味にて烈日にくつろぎを齎したるものは…そうです、甘いものです！

写真は、日本各所に店舗のございます（鴻巣からだ最寄りは大宮か川越辺り）、Afternoon Teaのブランドがひとつ、『Afternoon Tea TEAROOM』さんの季節のメニュー『白桃とラズベリーのブラマンジェパフェ（税込¥1,650-）』です。Afternoon Teaさんに本当に行ってきましたッ!!有言実行ツツツ!!!（前月号参照）今回は故あって池袋のお店に行ってきたのですが、さすが日本全国規模で有名なお店だけあって午前10時の開店から四半刻も経たないうちにお店の外に待機列が…!いやはや開店直後に入れて良かった!!……え?その時間じゃアフタヌーンではなくモーニングですって?否ッ!心の中のお嬢様が『茶アしばきてえですわね!!』と叫んだならば、その瞬間からALL DAY & ALL NIGHTがAFTER NOONでしてよ!!セバスチャン!!!荒ぶるお嬢様の魂もそのままに本題のパフェに触れていきますが、白と薄桃色に彩られたグラスは見た目からして既に最高のパフェ体験を予感させる出で立ちで、食べる前からもう超ウッキウキ!そんな高揚感のままお口に解き放たれたフレーバーの奔流は、なんともはや見た目以上の多重奏!!パフェの天辺にもってりと鎮座するブラマンジェは濃厚なミルクの風味を讃えており、その中からとろ〜りと現れるラズベリーソースはまるで雲間から差し込む光のような心地よい酸味。ブラマンジェの上に乗っかるライチとサワークリームはラズベリーソースとはまた方向性の異なる爽やかな柑橘とクリーム優しさが一体となった酸味でパフェ全体を彩り、パフェの主役たる桃の果肉にスプーンを伸ばせば、みずみずしくも優しい果実の甘さと酸味が舌の上を滑りぬけていきます。…なんだか甘いものレポートなのに酸味のことばかり書いてない??とお思いの諸兄諸姉もいらっしゃるかと思

いますが、このパフェは『酸味』と形容してしまえば2文字で終わってしまうものが、それぞれの素材の下でしか成しえない個性を織りなして重なり、これまた多種多様な甘味と渾然一体となる事で『味の振れ幅は大きいのにどのタイミングで何を食べても美味しい、賑やかなのに恐ろしい程に緻密な味わい』となっていたのでした…!これぞ天衣無縫の極みでしてよッ!!セバスチャンツ!!!他にも調子に乗って一緒に注文した『ピーチミルクティーのラッシーフロート』もそりゃ〜あもう絶品だったんですが、筆舌に尽くすには…ああ!余白が!!（いつもの）目を閉じたとして肌で感じる夏の熱気と湿気ので体と心が歪んでしまう前に、五体で感じる幸せと潤いに溢れた特別なひとときを、このお店で…是非!

黒沢 紫雲
（くろさわ しうん）
義肢装具士

